

都道府県がん診療連絡協議会 第1回情報提供・相談支援部会

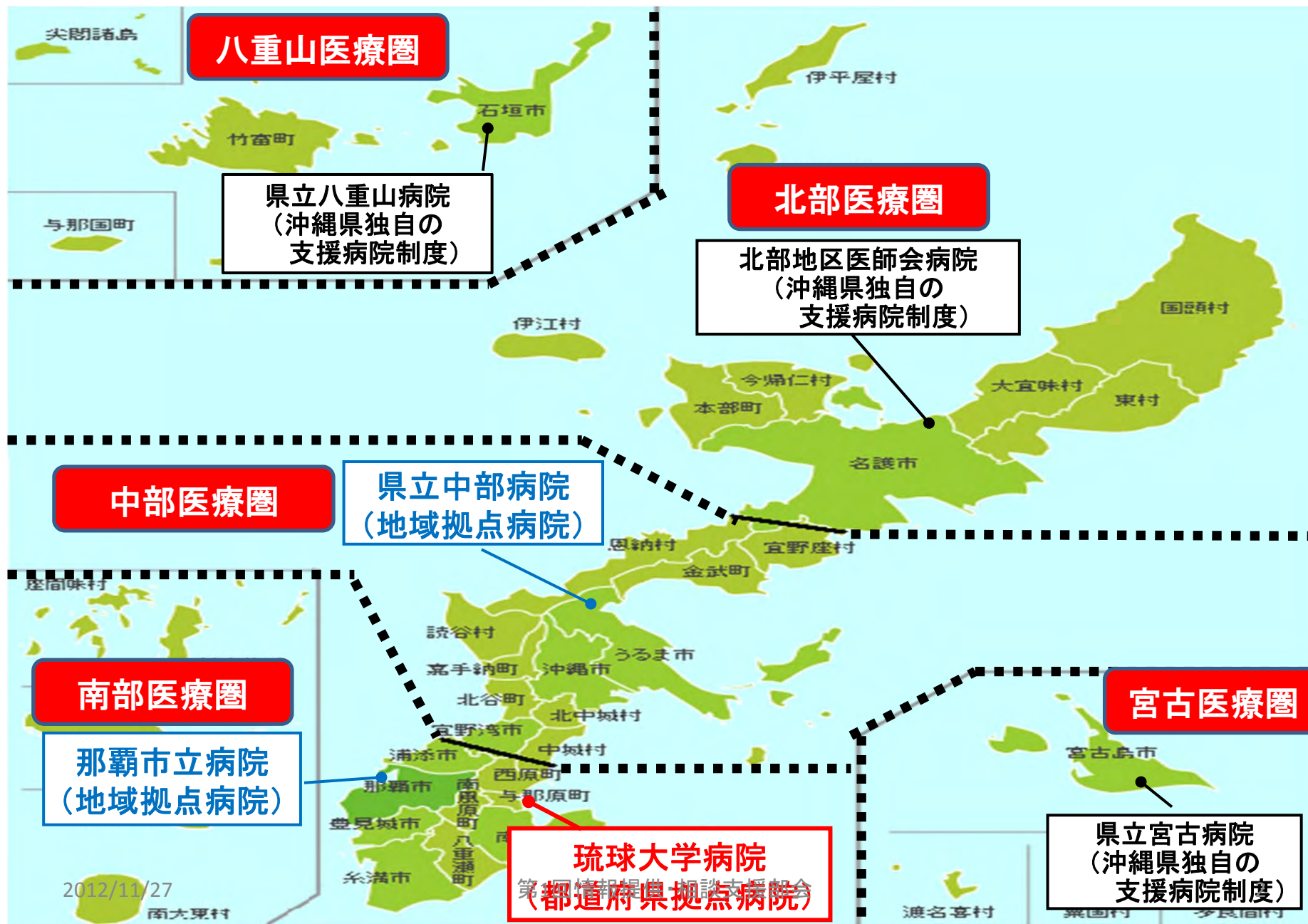
沖縄県における情報提供・相談支援の取り組み

—沖縄県の地域の療養情報の作成と普及を例に—

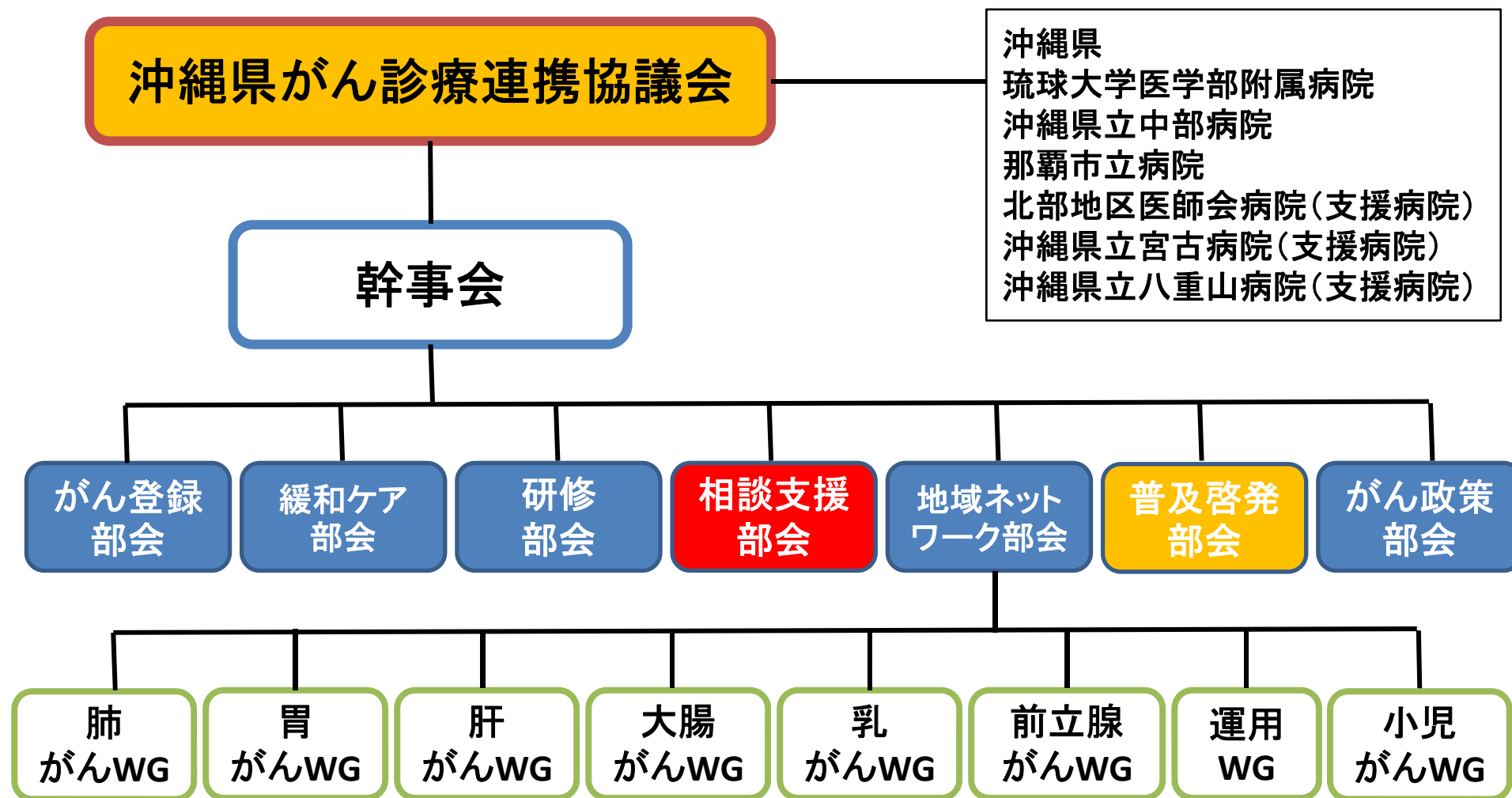


琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

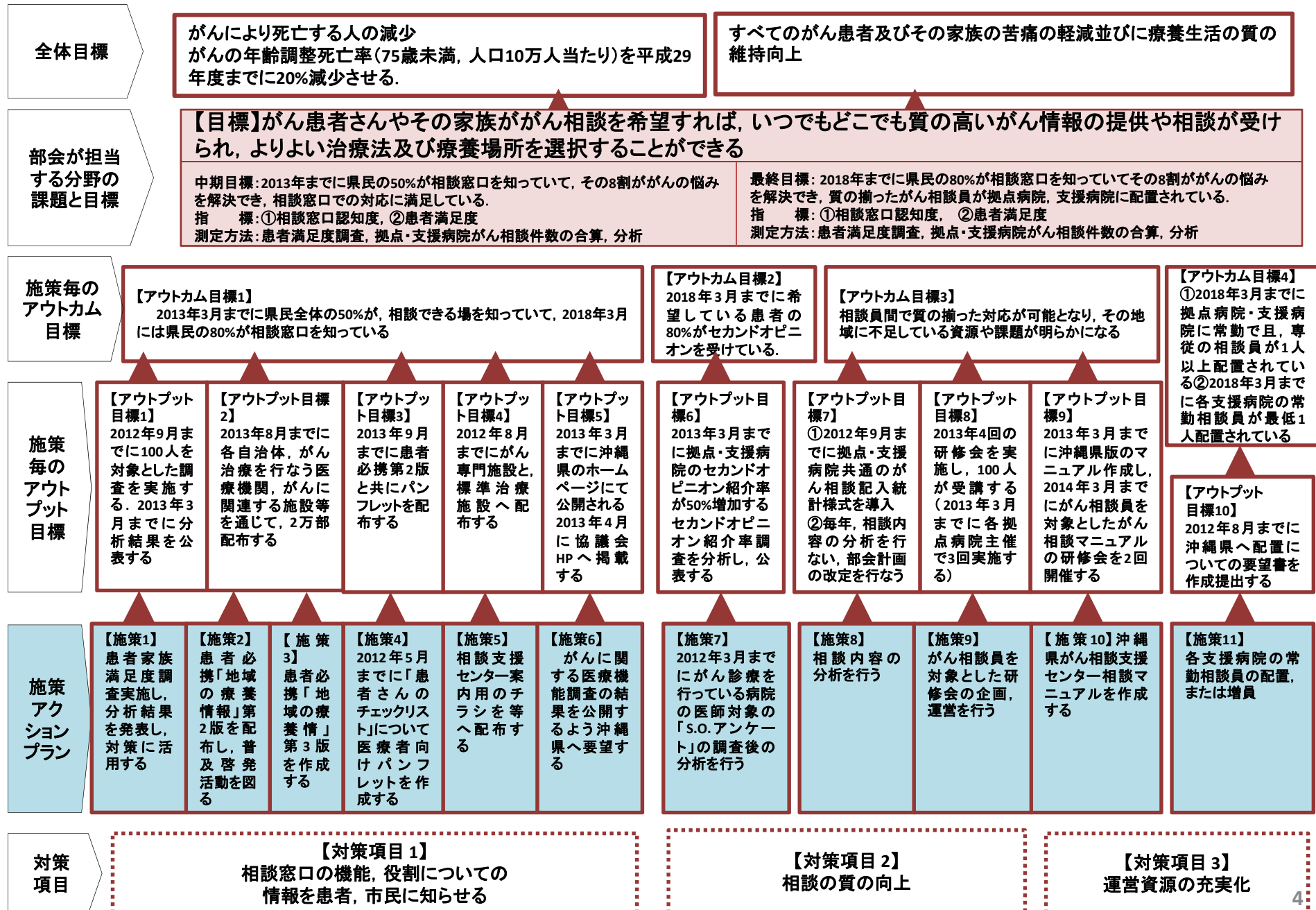
沖縄県のがん診療連携拠点病院と支援病院



沖縄県がん診療連携協議会組織図



相談支援部会活動計画概要(2012年度)



相談支援部会の委員構成の変遷

	人数	メンバー構成
2008年度	10人	患者, 患者家族, 保健所職員, 支援病院(MSW), 地域拠点病院(連携室Nrs, MSW), 県拠点病院(総務課, MSW, 医師, MSW兼事務局員)
2009年度	9人	患者, 患者家族, 保健所職員, 支援病院(MSW), 地域拠点病院(連携室Nrs, MSW), 県拠点病院(MSW, 医師, MSW兼事務局員)
2010年度	11人	患者, 患者家族, 患者支援団体(臨床心理士), 沖縄県職員(医務課2名), 支援病院(MSW), 地域拠点病院(連携室Nrs, MSW), 県拠点病院(MSW, 医師, 部会担当事務)
2011年度	15人	患者(県患者連合会会長), 患者家族, 患者支援団体(臨床心理士), 沖縄県職員(医務課), 専門的がん医療機関4病院(MSW等), 支援病院(連携室Nrs)離島2病院, 地域拠点病院(病床管理室師長, MSW), 県拠点病院(MSW, 医師, 部会担当事務)
2012年度 Skype開始	14人	患者(ピアサポーター), 在宅関係者(ケアマネジャー), 沖縄県職員(医務課), 専門的がん医療機関(小児担当MSW, 経営企画室長), 支援病院(連携室Nrs)2病院, 地域拠点病院(病床管理室師長, MSW), 県拠点病院(MSW2名, 医師, 部会担当事務)

「地域の療養情報」沖縄県版(試作版)

沖縄県版(試作版)作成経過	
09年6月	沖縄県がん診療連携協議会委員から渡邊先生を紹介され、「患者必携」事業を知る⇒渡邊先生、琉球大学病院がんセンターご訪問
7月	相談支援部会にて、増田委員が「患者必携」事業を説明 『地域の療養情報(沖縄県版)』作成を部会事業に加えることが承認 先行している県の「地域の療養情報」を基に内容について審議 実際の作成に向けて始動⇒コンテンツ収集開始、沖縄県にも協力依頼
8月	沖縄県と各委員から収集した情報が提示され、コンテンツの整理を行う
9月	緩和ケア部会と普及啓発部会でも検討、新たなコンテンツを提案
10月	沖縄県版に追加する項目を最終的に決定
11月	たたき台が完成、内容の訂正・見直しを行う
12月	沖縄がん患者ゆんたく会(患者会)に内容の訂正・見直しを依頼
10年1月	『地域の療養情報(沖縄県版)』試作版完成
5月	渡邊班で発表



沖縄県版に追加した内容			
1	放射線治療実施施設	7	医療ソーシャルワーカー設置病院
2	セカンドオピニオン実施施設リスト	8	在宅療養診療所
3	市役所・町村役場	9	沖縄県内の地域包括支援センター
4	沖縄県福祉保健所	10	ファミリー・サポート・センター
5	全国健康保険(協会けんぽ)	11	ファミリーハウス
6	社会保険事務所		

「地域の療養情報」沖縄県版(第1版)「おきなわがんサポートハンドブック」

沖縄県版(第1版)作成経過	
10年2月	地域の療養情報(沖縄版)試作版完成
3月	試作版の評価を行う(相談支援部会, 患者会)
4月	平成22年度沖縄県福祉保健部予算「がん医療連携体制推進事業」300万円
5月	渡邊班にて地域の療養情報についての発表 改訂版作成にあたって掲載情報の精査が行われる
6月	沖縄がん患者ゆんたく会(患者会)の幹部に, 内容の訂正・見直しを依頼
7月	改訂版製作のための情報収集を行う(1回目) (情報提供: 相談支援部会, 沖縄県がん患者会連合会, 沖縄県)
10月	各担当者より収集した情報の見直し, 精査を行う(2回目)
11月	見直し3回目(追加: 沖縄県がん診療連携支援病院について掲載)
12月	表紙デザイン, 見出し, レイアウトについて検討する 紅型作品を提供(沖縄県首里高等学校染色科3年生) 患者会へ意見収集(沖縄県がん患者会連合会) 内容・タイトル・方言について高齢者から情報収集(瑞泉同窓会)
11年1月	編集作業, 内容の最終確認
3月	第1版完成(2万部)
4月	関係施設に配布
5月	拠点病院にて患者や患者家族に配布開始

「地域の療養情報」沖縄県版(第1版)「おきなわがんサポートハンドブック」

沖縄県版(第1版)へ追加した情報

1	患者必携サポートセンター	11	福祉用購入費や住宅改修費の支給
2	高額療養費貸付制度	12	訪問看護ステーション一覧
3	高額療養費受領委任払い制度	13	介護タクシー
4	標準負担額減額認定制度	14	沖縄国際民間救急サービス
5	一部負担金の減免制度	15	日本対がん協会の電話相談
6	生活保護	16	患者会について
7	障害年金(基礎年金・障害厚生年金・障害共済年金)	17	がんと告知されたときの家族へのアドバイス
8	障害手当金(厚生年金) 障害一時金(共済年金)	18	緩和ケアについて(説明, 緩和ケア外来一覧, こころの緩和ケア)
9	高額介護・高額介護予防サービス費	19	沖縄県がん診療連携支援病院
10	高額医療・高額介護合算制度		



地域の療養情報 第2版 概要

1. 目的:

がん患者とその家族に地域で療養生活を送るために必要となる情報の提供する事により、より質の高い生活を送ることができる環境を整備する。

2. 配布対象者: 全てのがん患者（治癒した方は除く）とその家族

- * 第1版をお持ちの方にも配布する

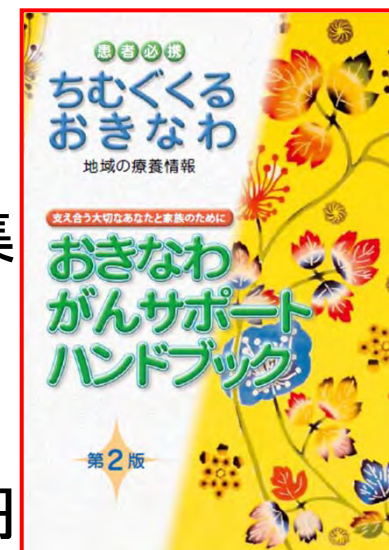
- * 一般の方には原則として配布しない

- * 18－70歳のがん患者を主な読者と想定して編集

3. 規格: A5フルカラー, 68ページ, 2万部

4. 完成日: 2012年2月28日

5. 予算: 沖縄県がん医療連携体制推進事業300万円



地域の療養情報 第2版 製作者一覧
(沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会 +α)

1	那覇市立病院総合相談センター長・MSW
2	沖縄県立中部病院病床管理師長・看護師
3	国立病院機構沖縄病院経営企画室長
4	ハートライフ病院地域医療連携室・MSW
5	中頭病院医療相談室主任・MSW
6	沖縄県がん患者会連合会会長
7	NPO法人マインドケアおきなわ理事・臨床心理士
8	編集支援協力者
9	沖縄県福祉保健部医務課医療対策班
10	琉球大学病院がんセンター・MSW
11	琉球大学病院がんセンター・事務担当
12	琉球大学病院がんセンター長

地域の療養情報 第2版 編集過程(1)

2011年 9月	第4回相談支援部会にて各コンテンツの修正・手直し. 沖縄県がん患者会連合会より, おきなわがんサポートハンドブック第1版評価アンケートを回収し, 改訂版へ反映.
10月 (第1回編集委員会 20日14-18時)	「患者必携」第2版編集委員は相談支援部会委員を中心に編成した. 沖縄県, 各拠点病院担当者と協力し, 内容の作成, 更新作業を行った. 患者会・沖縄県がん診療協議会委員メーリングリストにて改訂版の内容についてご意見を収集した.
11月 (第2回 17日14-19時)	協議会ホームページにてパブリックコメントを募集した. (1~31日) 沖縄がん患者ゆんたく会(患者会)へ, コンテンツおよび内容の見直しについて依頼した. 沖縄県がん診療協議会委員メーリングリストにて, 内容の作成(案)について審議した. 第3回沖縄県がん診療連携協議会にて, 委員より, 内容の大幅変更が必要との意見が出て, 全体の構成を再度検討することとなった.

地域の療養情報 第2版 編集過程(2)

2011年 12月 (第3回編集委員会 22日14-18時)	患者会及び沖縄県がん診療連携協議会からの意見を基に、<u>改めて改訂作業を行った</u> 全60コンテンツについて、全ての説明文、各タイトルの確認作業を行った。協議後、担当者にて原稿の修正作業を行った(1回目)
2012年 1月 (第4回 7日10-21時) (第5回 20日14-19時)	7日 全60コンテンツ, 全69ページについて、全ての説明文、各タイトルの確認作業を行った。協議後、担当者にて原稿の修正作業を行った(2回目) 沖縄県がん患者会連合会へ原稿について、最終意見を伺った 20日 全60コンテンツ, 全69ページについて、全ての説明文、各タイトルの確認作業を行った。協議後、担当者にて原稿の修正作業を行った(3回目) 27日 レイアウト等原稿の調整を行った(4回目)
2月	印刷作業開始→完成納品(28日)
3月	第4回沖縄県がん診療連携協議会にて配布
5月	沖縄県より、県内各施設、各団体へ搬入
6月	配布開始

編集会議(計5回開催)

第1回

10月20日(木)14:00~18:00



第4回

1月7日(土)10:00~21:00



第2版の編集上の特性および改訂部分

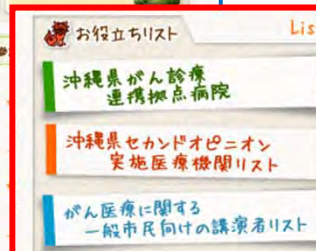
- 1 治療や社会資源に関する情報だけでなく、心理的混乱を整理する助けとなるよう、情報の出し方と編集を意識した。
- 2 患者の病期や状態に沿った掲載順に構成し直した
- 3 「がんの治療・療養の過程(ライフコース)マップ」を掲載することで、読み手が必要とする情報に最短でたどりつけるようにした
- 4 「がんの疑いがあるといわれてから、治療が終わるまでに確認しておくの良いリスト」(患者用チェックリスト), 「知って得する基礎知識」と題してコラム(4題)を追加した
- 5 全体をカラー化した。各章および中項目ごとに色分けインデックスを作成し、必要な情報にたどりつけよう工夫した。また、インデックスの上部に沖縄らしいイラスト(各章)を加えた
- 6 制度申請やサービスを利用する際の「覚えておくといよいこと」などのポイントを掲載することで、読み手にとって少しでも解りやすくなるようにした。結果的に14ページ減らした
- 7 沖縄県がん患者会連合会, 沖縄県がん診療連携協議会委員, 他の6つの専門部会委員からご意見をいただき、改定作業を行った
- 8 患者必携「がんになったら手にとるガイド」と併せて活用できるよう、関連する情報の参照ページを掲載した
- 9 表紙は、県立首里高校染織デザイン科3年生の卒業制作である紅型(モチーフは「長命草(方言名: チョーミーグサ)」)の一部を提供していただいた

ハンドブックの常備先と冊数

冊数	常 備 先
3000	・琉球大学病院(県拠点病院)
1000	・那覇市立病院(地域拠点病院) ・県立中部病院(地域拠点病院)
300	・北部地区医師会病院(支援病院) ・県立宮古病院(支援病院) ・県立八重山病院(支援病院)
200	・専門的がん診療機関(18) (県医療計画選定施設) ・がん患者会連合会
100	・福祉保健所(6)
30	・患者会(22団体)
20	・公立・私立図書館(46)
10	・標準的がん診療機関(83) (県医療計画選定施設) ・調剤薬局(145) ・県医師会及び地区医師会(8) ・市町村(41自治体)

冊数	常 備 先
5	・県歯科医師会 ・県看護協会
1	・診療所等(390) ・介護老人保健施設(44) ・地域包括支援センター(41) ・ファミリーサポートセンター(14) ・年金事務所(6) ・居宅介護支援事業所(383) ・訪問看護ステーション(46) ・小学校(280) ・中学校(161) ・特別養護学校(16) ・高等学校(65) ・大学・短期大学・高等専門学校(9) ・看護専門学校(5)
* 沖縄県福祉保健部医務課より各施設へ配送した	
* 残り3,880冊は沖縄県福祉保健部医務課保管	

沖縄県がん診療連携協議会 ホームページからのダウンロード



がん検診啓発ポスターコンテスト2011
結果発表
(こちらの作品は、今年度のがん検診啓発)

最優秀作品(1名)



アイデア賞(2名)

ジ: <http://ganioho.jp/public/index.html>

地域の療養情報 ちむぐくろ おきなわ「おきなわがんサポートハンドブック」(第2版)

PDFはこちらからご確認ください。
(PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください)



表紙 (PDF)
はじめに (PDF序文) (PDFガイド)
もくじ (PDFP2~4)

第1部 病気や治療について

1. がんと診断を告げられたとき (第1部1章PDFP5~P19)
 - (1)がん治療・療養の過程(ライフコース)と主な悩みや疑問
 - (2)がんの疑いがあると言われてから治療が終わるまでに確認しておく良いリスト
 - (3)がんに関する悩みや不安、つらさについて
 - (4)沖縄県のがん医療体制について
 - (5)がん診療連携拠点病院およびがん診療連携支援病院
 - (6)がん診療を行っている専門医療機関について
 - (7)地域連携クリティカルパスについて
 - (8)インターネットで情報をさがす

2. 治療法を選び、納得して治療を受けたいとき (第1部2章PDFP20~P22)
 - (1)セカンドオピニオン

配布用封筒



琉大病院からのお知らせ

がんと診断されて間もない患者さんやそのご家族の思いに寄り添い、支えることの助けとなる情報誌「がんになったら手にとるガイド」と「わたしの療養手帳」が、国立がん研究センターがん対策情報センターによって作成されました。これらを活用することで、以前よりも「信頼でき、わかりやすく、役に立つ情報」を得ることが可能です。また、これらは一般書店にてセットで1,260円で販売されています（院内の売店でも購入できます）。

詳細については、同封されている「患者さんのしおり」をご覧ください。

なお、沖縄県は全国に先がけて地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」を作成しましたので、併せてご活用ください。

同封資料

①患者さんのしおり ②患者必携3折りリーフレット

③地域の療養情報 ④地域の療養情報 案内チラシ

⑤地域療養情報についてのアンケート

アンケートのご協力について

よりよいがん情報の提供を目指すため、「おきなわがんサポートハンドブック 第2版」についてのアンケート（ピンク色の用紙）のご協力をお願い致します。

アンケート用紙の回収先：2階シエント（がん相談支援室）

（地図はアンケート用紙裏面をご覧ください。）

同封された冊子についてのご質問は、下記の連絡先へお問い合わせください。

機関	対応時間	電話
国立がん研究センター 患者必携サポートセンター	平日（土日祝日を除く） 午前10時～午後3時	0570-02-3410 （直通）
琉球大学医学部附属病院 がんセンター	平日（土日祝日を除く） 午前10時～午後3時	098-895-1368 （直通）

※「がん」についての不安や悩み・心配ことは、医療福祉支援センターへご相談ください。

機関	対応時間	電話
琉球大学医学部附属病院 医療福祉支援センター	平日（土日祝日を除く） 午前9時～午後12時 午後1時～午後3時	098-895-1359 （直通）

2012/11/27

第1回情報提供・相談支援部会

ポスター（A2版）

無料で差し上げます！

サポートブック

使える情報満載！

**がんのことについて
相談したい**

がんの診断や治療についてもっと知りたいとき、情報を探すお手伝いをするがん相談支援センターの連絡先一覧を掲載しています。

**同じ病気の人の
話をきいてみたい**

同じような経験をした患者さんや、ご家族などが結成する各患者会やサロンなどの一覧を掲載しています。自分らしい生き方を探すヒントが得られるかもしれません。

**医療費のことが
心配です**

主にがんに係る医療費の負担を軽減する仕組みや支援制度、窓口について紹介します。医療費の自己負担分が設けられているほか、休職している間に生活を支える制度など様々な助成・支援の仕組みをわかりやすく説明しています。

**セカンドオピニオン
について知りたい**

セカンドオピニオンの受診方法、費用、実施施設一覧についてご紹介しています。セカンドオピニオンとは患者さんが納得のいく治療法を選択するために「第二の意見」を求めることです。

冊子をご希望の方は、
2F シエントまたは3F がんセンター
でお配りしています。

くわしいお問い合わせは、
琉球大学医学部附属病院
がんセンター
TEL:098-895-1368
FAX:098-895-1497

この冊子は「沖縄県がん診療連携協議会HP」より
ダウンロードも可能です。
<http://www.okican.jp>

17